

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

193

2017 December



COVER INTERVIEW
My Purpose 挑戦する人

特集

同志社の
クリスマスツリー

第2
特集

「同志社大学 VISION 2025」
ALL DOSHISHA
特別対談

CONTENTS 2017 December No.193

2

特集

同志社の クリスマスツリー



7

Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

文学部文化史学科 石坂 尚武ゼミ



9

同志社の研究は今

先端バイオマテリアル研究センター
センター長 森田 有亮 (生命医科学部医工学科教授)

11

来年度就職をめざす皆さんへ

13

CAMPUS NEWS

第10回 新町祭を開催します! / 同志社大学出身の市町村長が集結! 「全国市町村長クローバー会」を設立 / 第35回函館キャンプ実施報告 / 平成29年 司法試験合格者発表 / 熊本キャンプを開催 / 同志社大学政策学会講演会を開催 / 本学教員の執筆図書紹介

17

留学生紹介

ヘンデルリッカ・ラーウィザ・ロザリー・ティメマンズさん
(日本語・日本文化教育センター)



18

第2特集

「同志社大学 VISION 2025」 ALL DOSHISHA 特別対談

同志社校友会・ダイキン工業株式会社 井上 礼之 会長 × 同志社大学 松岡 敬 学長



23

My Job, My Life ～私と「仕事」～

野口 和さん (1999年 法学部政治学科卒業)
野崎 隆史さん (2008年 司法研究科修了)

25

ANNOUNCEMENT

27

COVER INTERVIEW

My Purpose ～挑戦する人～

鵜飼 風音さん (文化情報学部 4年次生)



ご意見・情報を募集

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。
どうぞお気軽にご意見・情報を広報課までお寄せください。

特集

DOSHISHA'S
CHRISTMAS
TREES

同志社のクリスマスツリー

星降る夜に心を灯す
クリスマスイルミネーション



京都の初冬の夜空に映えて、見上げる人々の心を煌めかせるクリスマスの壮麗なイルミネーション。

今年も今出川校地と京田辺校地のツリーの点灯式が催され、聖夜まで輝き続けます。

今回の特集は「同志社のクリスマスツリー」をテーマに取り上げ、その魅惑的な美しさの秘密を探訪していきます。



京都一の高さを誇る華麗なツリー!!

2代目

今出川校地 クリスマスツリー 誌上探訪

| 2017年度イルミネーション点灯式

11月20日(月) 17:15～17:45
西門北側サンクタスコート

| 点灯期間

11月20日(月)～12月25日(月)
17:00～22:00

ツリーの頂上に輝く
星の直径約150cm!!

高さは約23m(星含む)
直径は約15m!!

2013年に現在の2代目がデビュー

イルミネーションは
2000年开始

壮麗なLED照明は
約16,000個!!

樹齢100年を超える
ヒマラヤスギ

学生時代に洗礼を受けた記念に、
同志社の教員4人が
1911年に植樹した巨木

キャンパスロードの
キャンドルライトも
大好評!!



・ツリーナビ01・



現在のクリスマスツリーは2代目

現在のクリスマスツリーは実は2代目。初代のクリスマスツリーは西門正面のヒマラヤスギでした。2013年より、今出川キャンパス整備に伴い、現在のサンクタスコートにあるヒマラヤスギに変更されました。

・ツリーナビ02・



LED照明の性能を教えてください

現在使用されている電球は総LEDで約16,000個。2000年に開始された時は通常電球3,500個でした。総LEDとすることでイルミネーションの壮麗さが増し、消費電力も大幅に抑えられています。ちなみに1時間あたりの電気代は15.2円。

・ツリーナビ03・



ろうそくの竹筒は手作りですか？

クリスマスツリー点灯式には竹筒で作られた燭台が毎年配られます。その数は約200個。これは、理工学部の廣垣俊樹教授の研究室が中心になり学生達によって手作りされています。材料は、京田辺キャンパスに自生している竹が使用されています。

・ツリーナビ04・



イルミネーションの準備は大変ですか？

大型のクレーン車を使用してイルミネーションの設置工事を行います。工事期間は1〜2日。円形のワイヤーを周囲に張り、そこに電球を這わせヒマラヤスギを傷つけないよう配慮されています。

MESSAGE

建学の精神・キリスト教主義を象徴する同志社恒例のクリスマスイベント

クリスマス・イルミネーション点灯式は毎年両校地で行われており、あわせて500人を超える方と一緒に点灯の瞬間を見守っています。2000年にクリスマスツリーが今出川校地に初登場したのですが、同志社創立125周年を記念して、建学の精神の一つであるキリスト教主義を身近に感じてもらえるものが新たにできたことを同志社人の一人としてうれしく思いました。今では学生だけでなく地域の方々も楽しみにしてくれています。ツリーをバックにして友達や恋人同士で仲良く写真に納まる様子を見てほほえましく感じています。

昨年、学生団体SAP (Shinmachi Activate Project) が点灯式をより一層盛り上げるために、1,500個のキャンドルを設置して地上にも彩りを添えてくれました。点灯式当日のみの淡い光の情景に、子どもたちも大喜びでした。また、昨年の同志社EVEの間、全学EVE実行委員会がツリー下の芝生に電飾で光の輪を描いてくれました。

今年も両団体による演出を楽しむことができます。このように学生の自由な発想を活かして、より一層皆さんに親しまれるツリーにしてみたいと願っています。

その一方で、クリスマスはキリスト教にとって特別な祭日だということをぜひ覚えてほしいと思っています。救い主イエス・キリストの誕生を祝して、様々な催しを行います。キリスト教文化センターでは、チャペル・アワーのアドベント礼拝、同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝(12/9(土))、クリスマス・イブ礼拝(京田辺12/23(土・祝)、今出川12/24(日))などを行います。詳細は当センターのHP (<http://www.christian-center.jp/>) をご覧ください。ぜひこの機会にチャペルにお越しいただき、パイプオルガンの音色に耳を澄ませ、讃美歌を歌い、普段と違った雰囲気味わってもらえればと思っています。今年も多くの笑顔に出会えることを楽しみにしています。



キリスト教文化センター所長
横井 和彦



クリスマス・イブ礼拝



同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

京田辺キャンパスの新たなシンボルに!!

2代目

京田辺校地 クリスマスツリー 誌上探訪

| 2017年度イルミネーション点灯式

12月1日(金) 16:45～17:15
正門すぐローム記念館前

| 点灯期間

12月1日(金)～12月25日(月)
16:30～21:00

ツリーの頂上に輝く
星の直径約60cm!!

高さは約15.6m(星含む)
直径は約9m!!

2007年以前は知真館1号館前の
ヒマラヤスギを使用

壮麗なLED照明は
6,300個!!

樹齢約40年を刻むモミノキ

学外からも望むことができる大樹。
京田辺校地の新たなシンボルに...

・ツリーナビ01・



イルミネーションの
準備はどうやって
いるのですか?

今出川キャンパスと同様、大型のクレーン車を使用してイルミネーションの設置工事を行います。オフシーズンはキリスト教文化センターの倉庫に格納されています。

・ツリーナビ02・

学生聖歌隊について教えてください



同志社学生聖歌隊は、1948年6月28日に起こった福井大震災へ送られた同志社救援隊の中で生まれました。現在は同志社のキリスト教行事で讃美歌を歌うことを主な活動としています。クリスマス・イルミネーション点灯式をはじめ、チャペル・アワーや、全同志社クリスマスキャンドルライトサービスなどの行事にも参加しています。

同志社クリスマスツリーへの思い



やま だ かず ひと
山田 和人 教授「文学部国文学科」

「信仰の証の樹」に火を灯す

今出川校地のクリスマスツリーが私が提唱したのは、2000年の5月頃です。当時、広報関連の委員会が広報誌の編集部長を務めており、委員会メンバーで効果的な広報の新たな施策について活発な討議を行っていました。その中で素朴な疑問を抱いたのがきっかけでした。本学では建学の精神「良心教育」を実現するために、三つの教育理念を打ち立て、その一つとして「キリスト教主義」を掲げていますが、「なぜ、クリスマスツリーがないのか」と不思議に思ったのです。会議にかけると委員会の全員が賛同し、直ちに具体化に向けて動き始めました。

提案当初からクリスマスツリーに最適なものは、西門近くにあるヒマラヤスギだと確信していました。樹齢100年以上の年輪を刻む高さ約20mの巨木であり、学外からも眺望でき、見栄えも申し分ありません。そして、何より重要なのは、この大樹が同志社人の「信仰の証の樹」だということです。1911年に同志社教員であった

波多野^{ますね}培根、三輪^{げんぞう}源造、久永^{きしろう}機四郎（鉄蔵）、加藤^{のぶと}延年の4人が同志社普通学校在学中に教員であり牧師でもあったD・W・ラーネッドから同時に京都第二公会（現在の同志社教会）で洗礼を受けた記念に植樹した記念樹であり、一世紀以上の時を越えて本学の学びの歴史を見守り続けてきた古木なのです。

「ALL DOSHISHA」の結実

大学において新たな企画を具現化するためには、教員・職員・学生の積極的な賛同を得なければなりません。この提案がわずか半年足らずの短期間で実現できたのは、誰もが心の底でクリスマスツリーの誕生を望んでいたからだと思います。まず、教員サイドでは全学の委員会で快諾されました。職員の方々にも即応していただきました。当時の施設課長が国内外のクリスマスツリーの事例を集めたファイルを持って私の研究室を訪ねてこられた様子も、昨日のことのように甦ってきます。私が教えていたゼミ生も「絶対、あった方が良い!!」と目を輝かせ、その呼びかけで学生の提案などを直接受け付けているCyber学長室にも要望するメールが殺到しました。このように、それぞれの思いが合致して一気に機運が盛り上がり、心の中の灯を煌めかせることができたのです。その時、私は「ALL DOSHISHA」の素晴らしさを実感しました。「京都一の高さを誇る壮麗なツリー」はマスコミでも大々的に取り上げられ、市民の方々からも高く評価され、いつしか京都の初冬の夜空を彩る風物詩となっていました。それは「開かれた大学」を象徴するものであり、地域貢献の典型です。また、伝統文化というものは単なる時の積み重ねではなく、確かなバックボーンを起点にした人々の熱く深い思い、波紋のように広がる心と心の繋がり、不断の創意が生み出すものであることを如実に物語っています。



手前が現在のツリーに使われているヒマラヤスギ。
奥に見えるのは初代ツリーに使われたヒマラヤスギ。
（今出川キャンパス）

(*) 詳しくは「同志社時報 No.142」 特別寄稿「クリスマス・ツリーものがたり ―地上の星@同志社―」本井康博（元同志社大学神学部教授）をご参照ください。
<http://www.doshisha.ac.jp/information/public/doshishajihou/backnumber/jihou142.html>



同志社大学公式facebookで

イルミネーション点灯式が動画で視聴できます!!





ゼミナール

Seminar

ゼミ探訪学びの時間

文学部文化史学科 いしざか なお たけ 石坂 尚武ゼミ 【文学部文化史学科教授】

研究発表や徹底した討議などで 際立つ表現力を鍛え 歴史的な思考力と判断力を養う

近現代の重要な礎を築いた ヨーロッパ近世がテーマ

石 坂尚武教授の専門分野はイタリア中近世の文化史・社会史。特に黒死病がこの時代に及ぼした影響を研究している。今年度末で退職となり、これまでの研究の成果として、残り数カ月で黒死病関係の著書3冊が出版される。所属する文化史学科の西洋史コースではヨーロッパ世界だけでなく、イスラーム史(堀井優教授)や中国史(城地孝助教)まで幅広く研究対象を選ぶことができる。石坂教授の扱う近世とは、中世(阿部俊大准教授)と近現代(服部伸教授等)の間に位置する過渡期の時世であり、多様な要素を含む時代。ルネサンスから宗教改革期、

宗教戦争を経た18世紀半ばまでで、近現代に先立って、美術・思想・文学・経済・社会の各分野の重要な土台を築いた時代である。例えば、美術ではルネサンス美術、バロック美術、マニエリスム美術が生まれ、思想ではマキャヴェッリを始めとする近代の政治論や絶対主義国家論が築かれている。また、社会史的には戦争、飢饉、疫病などが深刻な影響を及ぼし、宗教改革、魔女狩り、新世界の拡大なども起きている。

1年次の西洋史コースの基礎演習では、導入学習として、新入生合宿、レポート作成術・図書館活用法・ワード・図書検索の仕方、班の発表、課題図書の講読レポート、そして秋学期に個人発表を実施。2年次は個人研究の発表を中心に史料の読解・分析・パソコン

操作の能力を養い、3年次から各自の研究内容を明確化し、研究をさらに深化させ、4年次にその結実となる卒業論文を作成する。3～4年次生を対象とした本ゼミでは、まずゼミの先輩の卒業論文集の評価・批判から始める。右頁の全体写真で皆が持っている本が22年間の卒業論文集。ゼミでは各自が全力を注いでまとめた研究テーマを発表し、これにもとづいて全員で徹底的な討議を行う。各自の選ぶテーマはきわめて多岐にわたる。例えば、今年の研究分野(暫定)だけを取り上げても、「女性史」、「法令の歴史」、「宗教問題の歴史」、「美術史」、「本の文化」、「環境」、「社会・民衆・マイノリティ」と多様である。石坂教授が重視するのは、研究発表やディスカッションを通じて的確な表現力を養い、歴史的な思考力・判断力などを鍛えることである。また、指導の基本を「1対1の個別指導」と考え、昼食時間は日々それに当てて、研究テーマその他を広く語り合っている。

本ゼミでは格安旅行企画を利用したゼミ旅行も毎年実施。旅行先には風光明媚な全国各地の温泉地などが選ばれ、互いに学びを深めるだけでなく、和やかな雰囲気の中でコミュニケーションを弾ませるのにも大きく役立っている。また、就職ガイダンスと先輩との交流を目的にした集いも、定期開催している。各分野の第一線で活躍する本ゼミのOB・OGを招き、「現場からのアドバイス」を昼休みの時間などを活用し、研究室で食事をしながら聞き、これから社会に巣立つゼミ生の貴重な糧にしている。取材当日は、これまでの多彩なキャリアを起点にデザイン分野の新会社を立ち上げ、ヨーロッパと日本を行き来している女性社長とゼミ生が快活に語り合う風景を間近で見ることができた(下写真)。





歴史を独自の観点で探究し 揺るぎない主張を構築する

現 在、本ゼミには3年次生15人、4年次生16人が所属。3年次生の川端佑真^{ゆうま}さんは、高校時代から特に世界史が好きで、中学2年生の時に知った「ルーン文字」にも強い関心を抱いてきた。この文字はゲルマン人が使用した古い文字体系で、ヨーロッパ北部のスカンジナビア半島などで用いられていた。大学で「ルーン文字」を本格的に探究したいと考えてきた川端さんは、1年次生の時に基礎演習で石坂教授に出会い、その熱い思いを受け入れてもらい、背中を押され本ゼミを選択した。「先生に見守られながら自分のテーマを探究できるこのゼミは最高です。ゼミ生の誰もがすごく熱心で、研究テーマを発表した時の活発なディスカッションで得た数多くの意見や助言も、非常に役立っています。親密で和やかな雰囲気も申し分ありません」。現在、想定する卒業論文のテーマは「17世紀におけるルーン文字の再発見」。さらに、大学院に進学し、研究を結実させたいと願っている。卒

業後は母校である桃山学院高等学校の世界史の教諭になり、教壇に立ちたいという。

3年次生の男子学生の石濱萌^{いぶき}さんは、父親の仕事の関係でロンドンに赴き、中学生の3年間を過ごした。これが世界の文化や歴史に目を向ける契機になったとふり返る。「ロンドンでは文字通りの国際都市で、多種多様な歴史と文化を持つ人々が暮らし、各国の言葉が飛び交い、コミュニティが点在しています。そこで実感したのは、人間が文化や歴史を創り出しているという原点です。また、博物館や教会を探訪する中で宗教絵画にも強い感銘を受けました。このような貴重な経験を色褪せたものにしなくなかったので、高校もグローバルな環境で学べる同志社国際高等学校に進学しました。同じような体験をしている友人たちに出会え、世界史の授業を通じて先に見聞した知識が裏づけられ、広がっていきました」。石濱さんの研究テーマは「16世紀の怪物」——中世の北イタリアの都市ラヴェンナにいたと語り伝えられるラヴェンナ・モンスターなどである。往時の民衆の中で「伝説の怪物」が形づ

くられた経緯や深意などを探究している。将来、就きたい仕事は博物館学芸員。ロンドンをはじめとする博物館めぐりで、美術品などを継承するために不可欠な保存の重要性に気づき、特にこの分野を担いたいと願っている。

4年次生の平康文大^{ふみひろ}さんは高校時代から特に世界史の成績は抜群で、全国模試でも全国5位という高得点をあげ、大学でさらに学びを深めるために、本学の文化史学科を選択した。このゼミに所属したのは石坂教授の気さくで包容力のある人間性に強く惹かれ、ヨーロッパ近世という起伏に満ちた歴史の過渡期を探究できることにも魅力を感じたからだと語る。「ゼミの研究発表で鍛えられ、自分のテーマを的確に選び取り、その核となる主張を考察し、確実に裏付けていく能力を高めることができた実感しています。表現力なども養われたと思います」。卒業論文のテーマは「13～15世紀における人口と経済」。イタリアの経済発展による人口の急増がもたらしたゴミなどの環境問題を為政者による規制の観点から探究している。今後、仕事として挑んでみたい分野はITソリューションだという。

機械工学の視点から先端医療材料の創製と細胞を用いた実験検証まで次代を拓くバイオマテリアルを体系的に探究

先端医療の発展に貢献するバイオマテリアル（生体材料）の研究開発は、世界的に注視されている期待の分野であり、大きな可能性を秘めている。2015年4月に設置された先端バイオマテリアル研究センターでは、国際レベルのバイオマテリアルの創製、加工技術の開発、臨床応用研究などの共同研究が本学の生命医科学部を中心にした研究員によって推し進められている。主なプロジェクトは関節軟骨、骨、神経、血管の再生などであり、バイオマテリアルの体系的な研究開発を目指している。

先端バイオマテリアル 研究センター

もり た ゆう すけ
センター長 **森田 有亮**

【生命医科学部医工学科教授】

1992年同志社大学工学部機械工学科卒業、1994年同志社大学博士前期課程工学研究科機械工学専攻修了。機械メーカーでの実務経験の後、2003年京都大学大学院工学研究科機械工学専攻博士後期課程修了。大阪工業大学工学部電子情報通信工学科助教授を経て、現職。ちなみに、趣味は映画、音楽鑑賞。散策も好きで、小旅行にも魅力を感じている。



多角的な研究で先端拠点の形成を目指す

バイオマテリアルとは医療分野で用いる生体適合性に優れた材料である。例えば、損傷した部位の代わりとなる人工関節などをイメージしがちであるが、身近なものでは注射針や体温計の外側のプラスチックなども広い意味では含まれる。用途に応じた必要な期間、機能を継続的に発揮し、生体内外で安全に使用できることが基本となる。本研究センターでは我々の体を細胞・組織・生体という階層構造で捉え、組織の再生に役立つ先端生体医療材料の創製について材料・構造設計から細胞との相互作用まで解析手法を活用しつつ取り組んでいる。その起点となるのは、生体適合機能性材料の設計・創製、軟骨・骨・神経再生用スキャホルドの開発、骨・軟骨の再生メカニズムの解明、再生組織の力学機能評価法の開発など本学で行われてきたバイオマテリアルの多彩な研究実績である。スキャホルドとは、細胞の接着や増殖を促して3次元構造を保持するための足場となる細胞周辺環境のことである。

「本研究センターの研究員の専門分野は大半が機械工学です。そこに立脚して工学と医学の両側面からバイオマテリアルの創製と再生医療技術の開発を進めています。材料が持つ特性、細胞との相互作用、創出した組織の特性、細胞を取り巻く環境などを総合的に捉え、これらを多元的な視点から評価することによって組織が本来備えていた機能の再生を探究しています」。工学と医学の融合領域におけるバイオマテリアルの体系的な開発が本研究センターの際立つ独自性であり、多角的な共同研究の推進によってバイオマテリアル開発研究の国際的な拠点の形成を目指している。また、本学あるいは参加機関主催のシンポジウムを継続的に開催し、先端バイオマテリアルに関する情報交換と研究成果の発表を行っている。

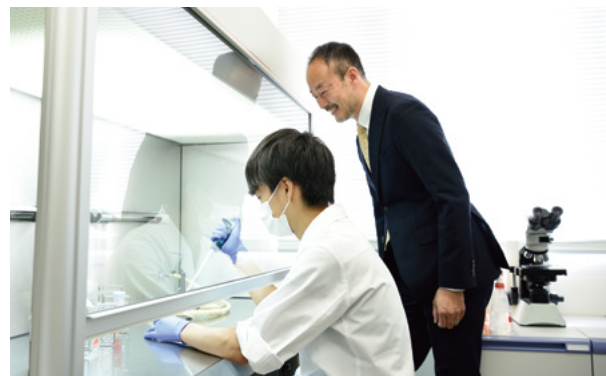
神経再生に最適な材料と細胞周辺環境の構築

本研究センターが推進している研究領域は多岐にわたる。神経再生の分野では神経再生用ナノファイバーガイドチューブの開発、神経軸索の伸展過程を予測するシミュレーション手法の開発などに取り組んでいる。「神経が損傷を受けた場合、移植という方法もありますが、ガイドチューブを被せて、その中で再生させる手法もあります。神経細胞の突起である神経軸索は材料表面の構造や電磁場刺激などの細胞周辺環境によって伸展促進や方向制御が起こります。そこで、最短の期間で神経を再生するためには、チューブ構造と細胞周辺環境をどのように構築すればベストなのかを研究しているわけです」。

神経再生用ナノファイバーガイドチューブの開発では、軸索進展と細胞配列を促すような特殊な構造をもつナノファイバーガイドチューブをエレクトロスピニング法(電界紡糸法)によって創製しようとしている。エレクトロスピニング法とは、紡糸のためのポリマー溶液に高電圧を加え、ナノレベルの微細繊維を作製する技法である。また、機能性バイオマテリアルの創製において生体内の環境を予測する手段として解析手法を応用している。例えば、有限要素解析による関節軟骨および半月板の微視・巨視機械特性評価を試みている。有限要素解析とは複雑な形状・性質を持つ対象を要素に分割し、各近似値から全体を統合的に解析する手法であり、実験による計測などが困難な生体組織内部に生じる様々な現象のメカニズムを探究している。

生体同等の機能の創出、骨・軟骨再生の促進

関節軟骨再生の分野では、例えば再生軟骨の細胞活性を維持・向上させる機能性スキャホルドの開発、力学特性および組織形成に及ぼす培養環境の最適化、関節軟骨および再生軟骨の力学機能評価などを行っている。「関節軟骨には日常生活で体重を支え関節運動を担うという非常に重要な機能があります。患者さんの早期回復のためにはこの優れた力学機能の獲得が不可欠です。生体軟骨と同等の荷重支持や潤滑といった力学機能を備えた再生組織を創製するのがこの研究の目的です。具体的には創製した機能性スキャホルドや培養過程での力学(電気)的刺激の細胞活性促進、組織構造化、力学機能向上などへの効果を評価し、より優れたバイオマテリアルの探究を行っています」。また、骨再生の領域でも骨形成促進のためのインプラント表面改質技術の開発などの研究も推進中である。骨置換材を移植した場合、接合に時間を要するという課題がある。そこで、研究センターでは骨置換材の表面に生体骨で生じるような電氣的刺激を自発的に出すような特性を持たせれば、骨形成が促進されるのではと予測し、新規無鉛生体電圧材料のシリコン酸マグネシウムを開発。現在、その高性能化を図っている。



来年度就職をめざす皆さんへ

「充実した学生生活としっかりした準備を」

就職を取り巻く状況

学部4年生（2018年4月採用）の就職活動スケジュールは、企業の広報活動の開始時期が3年生の3月から、採用選考活動の開始時期が4年生の6月からとなりました。ただし、昨年と同様、経団連加盟企業も含めてこの日程によらない企業も多数あります。学生の「売り手市場」が続き、人材の獲得競争が過熱するなか、企業の動きが昨年以上に早期化したことにより、準備不足のまま就職活動を開始せざるを得なかった学生も多くいたようです。結果として、昨年以上の「売り手市場」と言われる状況であったにもかかわらず、7月以降も活動を継続する学生が本年も少なからず存在しました。

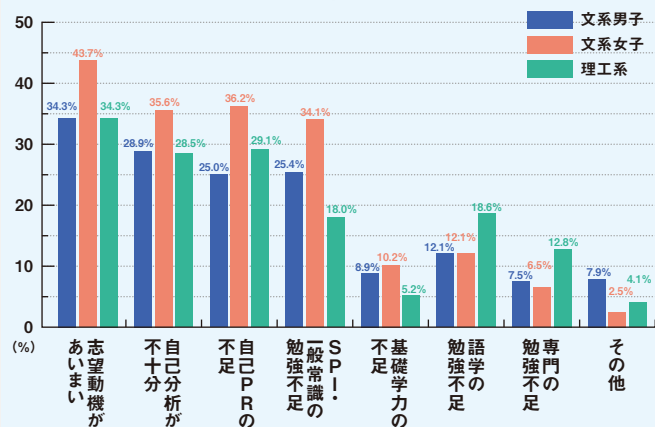
キャリアセンターでは、10月上旬に第1回ガイダンスを開催し、学部3年生・院1年生への就職支援を開始しました。そこでは前年度の反省をふまえて、事前準備の大切さをお伝えしました。秋から年明け2月までの期間こそ様々な準備が必要となります。学内外の様々なセミナー等を通して、自己分析、業界研究、仕事研究を行い、自身の将来についてじっくりと考え抜いてください。この準備期間をしっかりと過ごすことが就職活動を成功に導き、自分の個性を活かして活躍できる場を見つけることに繋がります。2018年3月には、今出川キャンパスに約700社、京田辺キャンパスに約500社と全国の大学でも有数の規模で学内企業研究セミナーを開催します。このセミナーには、幅広い業界、地域から様々な企業が、同志社大学生を採用するために参加されますので、ここで出来る限り多くの企業の説明を聞き、志望業界や企業を的確に絞り込んでください。また、キャリアセンターでは学生一人ひとりの個性を活かすため、各種セミナーの他、個別相談にも力を入れていますので、いつでも気軽に相談に来てください。

2018年4月採用の内定状況については、昨年と同様に、全般的には好調のうちに推移していると見ています。リーマンショック以降「厳選採用」が定着してきましたが、景況感の改善等により、今年も「売り手市場」と言われています。しかし、一方で企業は採用基準を下げてまで採用しないと言われています。グローバルな経済環境の中で国際競争に勝ち抜くためには、企業の発展を支える次世代を担う人材を確保する必要があるため、「厳選採用」の姿勢を堅

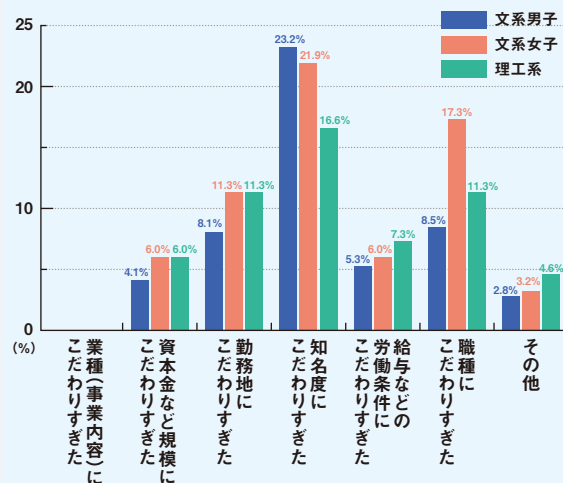
持しています。企業は単に数合わせで採用しているのではなく、「コアになる人材がほしい」と考えているのです。

近年では一人で複数の内々定を得る学生がいる一方で、なかなか内々定を得られず、就職活動の長期化を余儀なくされる学生もいるといった二極化傾向が顕著になっています。先輩達の反省点として、2017年3月に卒業した本学学生の就職活動を終えてのアンケート調査（下部グラフ参照）を見ると、応募先選択段階での反省点として、「知名度にこだわりました」「職種にこだわりました」「勤務地にこだわりました」が続いています。面接・試験段階での反省点としては、「志望動機があいまい」「自己分析が不十分」「自己PRの不足」「SPI・一般常識の勉強不足」が挙げられています。「売り手市場」であっても、筆記試験の勉強不足、自己や業界・企業の理解不足、自分のイメージだけで就職活動を行ったことで苦戦したケースも見受けられます。消費者の目に触れない企業であっても業績を伸ばし、発展している企業は数多くあります。就職活動が長期化した学生も活動を進めるうちに自分に合った企業を見る視点が定まり、最終的には満足 of いく就職先を決定して

面接・試験段階での反省点



応募先選択段階での反省点



いるケースも多くあります。目先の企業選びではなく、自分自身がどのような道を歩みたいのか、早い段階から働くという視点を持って考えてください。

企業の求める人材

それでは、企業はどのような人材を求めているのでしょうか。経済産業省が、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力を「社会人基礎力」として提唱しています。「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」、「チームで働く力（チームワーク）」の3つの基礎的な能力から構成されると定義付け、その3つの能力を主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、情況把握力、規律性、ストレスコントロール力の12の要素に区分しています。この12の要素のうち最も重要だと考えられる要素として、企業は「主体性」と「実行力」を挙げています。経団連が実施したアンケートによりますと、企業が選考時に重視する能力の1位は13年連続で「コミュニケーション能力」でした。2位以下は「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」と続いています。企業が新卒の学生に求める力の平均値は、「コミュニケーション能力を有しつつ、自ら主体的に行動し、実行する力」と集約できるでしょう。誤解しないでほしいのは、「コミュニケーション能力」とは、友人との会話がスムーズにできるということではありません。年代や性別を超えた全くの他人ときちんと意思疎通を図ることができる能力です。また、グローバル化が進展する中で、語学力を評価する企業が増えています。単に「語学が得意」だけでは評価されません。社会人基礎力を備えた上での語学力、すなわち様々な価値観を持った人たちの意見を傾聴し、その上で自分の意見を発信できる力が必要とされているのです。

充実した学生生活を

社会人基礎力を身につけるためには、何事にもチャレンジすることが大切です。授業はもとよりクラブ・サークルや

ボランティア活動など自分の興味・関心のあるものを見出し、それに真剣に取り組む達成感を味わうこと、逆に失敗や挫折を経験することも自らを一回りも二回りも成長させます。そしてそのような行動をとる中で、自ずと社会に向ける目も広がり、多くの人と関わることで確固たる人格が形成されていきます。その過程でいろいろな気づきをして成長した学生に企業は魅力を感じ、結果として、就職活動における評価にも繋がります。漫然とした日々を送るのではなく、常に何かにチャレンジする充実した学生生活を送ってください。

来年度就職をめざす皆さんへ

皆さんが就職する目的は、「社会での自立」、「社会参加による貢献」、「能力を生かした自己実現」ということになるかと思っています。そのためにはまず、自分自身を知ること（自己理解）が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業で実現できるのか、自分の力がどのように職場で発揮できるのかを考えてください。それを考える手段として、学内セミナー、企業セミナーへの参加やOB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切です。これらを経て、自分のやりたい職業、働きたい企業を見出し、業務内容をよく調べ、「自分はこの会社でどのように働きたいか」を話せるようにしておくことがポイントです。採用担当者は、面接などのやりとりから、熱意、主体性、コミュニケーション能力、問題意識や行動力を見極め、「きちんと仕事をしてくれそうか、一緒に仕事をしたい人物か、将来会社を支えてくれる人物か」どうかを判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず発見できるはずです。今、知っている企業が自分にとって良い企業とは限りません。自分が仕事をする上で、いい企業をこれから見つけていってほしいと思います。自分を信じて前向きに就職活動にチャレンジしてください。

キャリアセンターは、本学学生の皆さんの希望が叶うよう皆さん一人ひとりに寄り添って誠実にサポートしますのでぜひとも積極的にキャリアセンターを利用してください。

今年度就職活動をした先輩からのメッセージ

（「2017年度 就職に関するアンケート」から）

就 就職活動は、これまで経験してきた受験のように、偏差値という皆に共通するボーダーでレベルをはかり進路を決定するものではなく、自分自身のやりたいことや価値観によって作られる軸が大切になってくるため、「自分」をしっかり持ち、周りに振り回されないことが重要であると思います。焦り落ち込むことも多いと思いますが、どんな状況でも諦めないでください。必ず、あなただけの道が開かれると思います。家族や気の許せる友人と話し、自分の思いを少しでも聞いてもらうだけでリラックスできると思います。応援しています。

文学部 女性

公 公務員試験に限らず就活は情報戦です。私の最大の反省点はキャリアセンターをあまり利用しなかったことです。独りよがりにならず、利用できるものはほとんど利用して志望先攻略の道筋を立てましょう。

法学部 男性

大 学での勉強も大事です。部活・サークル・アルバイト等の活動もよく尋ねられますが、私が受験した機関は、最終面接でほとんど学業について聞かれませんでした。

政策学部 男性

と にかく自己分析&自己PR作成を早く始めてよかったと感じています。自分はどのように感じ・考え・行動してきた人間なのかを振り返るいい機会になりましたし、この振り返りを通して「自分の強み&弱み」や「将来自分が挑戦してみたいこと」が見えてきました。また、自己分析や自己PR作成に行き詰ったときは、キャリアセンターのアドバイザーの方の力を借りることを強くお勧めします。

文化情報学部 男性

就 活は、the earlier the betterです。夢がはっきりしている人でもそうでない人でも、将来に向けて動き始めることから始まります。皆さんの周りの人、たくさん頼りましょう。就活は一人では出来ません。業界選びに関しては周りの社会人の話を聞いたり、自己分析に関しては、友人や家族と話す中で見てくるものがあるかと思っています。就活が本格化するまでは、不安や憂鬱さがあるかもしれませんが、就活を通しておもしろい経験や素敵な出会いもあるものです。自分らしさを大切に頑張ってください。

グローバル・コミュニケーション学部 女性

始 めは何をしていいかわからないと思います。ですが、ESの提出、テストセンター、面接などの企業も短期間で準備をしなければいけないので、前もって準備をしておいた方がいい。自己分析でも企業分析でも、表面上だけ見るのではなく、その奥にある本質をいかに見つけられるかが大切です。

生命医科学部 男性

志 望先企業で自分がどんな仕事がしたいのかを出来るだけ明確にするべき。そのためにまず、どういった仕事があるのかを説明会等で情報収集し、理解しておく。それが志望理由にも繋がると思います。

理工学部 男性

誰 でも面接は緊張するけど、自分の熱意を伝えようとする思いがあれば相手にそれは伝わると思うので、自信を持って胸を張ってやればきっと大丈夫だと思います。

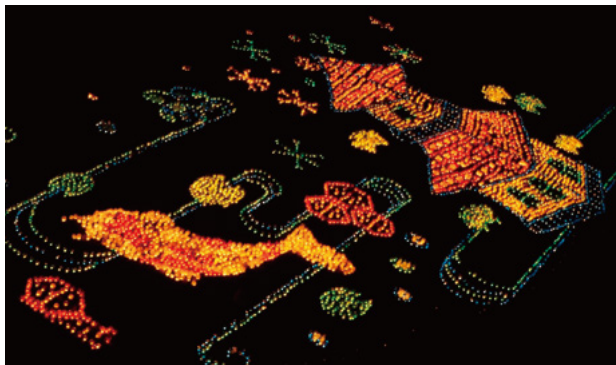
理工学部 女性

就 職活動は企業を調べたり探したりするのと並行して、自分のことについて考えるいい機会だと思います。自分がこの先何十年と社会に出て働く前に、自分はどういう人間でどういう環境に身を置きたいか、何を重視しているのかなどを整理しておくときっと企業選びにおいて役に立つと思います。

理工学研究科 男性



第10回 新町祭を開催します!



12月16日(土)、新町キャンパスにて「第10回 新町祭」が開催されます! 新町祭とは、「地域と学生が作りあげる学園祭」という趣旨のもと、2008年から開催されている関西最大級のキャンドルナイトイベントで、毎年、学生だけでなく地域の幅広い年齢層の方々に来場していただいています。

今年は新町祭が10周年を迎えるということもあり「10th Anniversary」をテーマに、昨年より1万本多い3万本の手づくりキャンドルとともに来場者の方々に幻想的な夜を過ごしていただきます。キャンパス内をキャンドルで華や

かに埋め尽くし、当日は学校内外で活躍されているアーティストのパフォーマンスや学生団体の展示、またほかにもご来場の皆さんに楽しんでもらえる企画を盛り込んでいます。主催しているのは、同志社大学学生支援センター登録団体SAP (Shinmachi Activate Project)という団体で、新町キャンパスに拠点を置く社会学部と政策学部の学生約50人で構成されています。新町キャンパスの活性化を目

的に、新入生を対象としたフレッシュャーズキャンプなどのイベントなども実施しています。

学生と地域が主体となって作るキャンドルで彩られ、一晩限定で生まれ変わる新町キャンパスにぜひお越しください。

日時 2017年12月16日(土)

18:00~21:00

雨天中止、予備日17日(日)

会場 同志社大学新町キャンパス

入場
無料

Twitter sap_candle

Instagram sap_candle

Facebook Shinmachi Activate Project(SAP)

同志社大学出身の市町村長が集結! 「全国市町村長クローバー会」を設立



同志社に学び、現在、地方行政の舵取りを担う市町村長19人により、「全国市町村長クローバー会」が8月20日に設立されました。当日は15人が寒梅館に集結。会長に、堀口文昭八幡市長を選出後、松岡敬学長、藤澤義彦副学長を囲み、各自治体の現状や大学との関わりなどを語り合い、今後も毎年、情報交換と親睦を図り、地域創生、地方自治の推進を図るとともに、地方行政の振興の観点から、同志社大学との連携を進めていきます。

会員は右記のとおり。

秋田県由利本荘市長
茨城県守谷市長
石川県小松市長
愛知県豊川市長
三重県度会郡度会町長
滋賀県野洲市長
滋賀県東近江市長
京都府長岡京市長
京都府八幡市長
京都府南丹市長
京都府与謝郡伊根町長
大阪府岸和田市長
大阪府泉佐野市長
大阪府高石市長
兵庫県西脇市長
島根県鹿足郡津和野町長
佐賀県嬉野市長
大分県杵築市長
大分県国東市長

長谷部誠
松丸修久
和田慎司
山脇実
中村順一
山仲善彰
小椋正清
中小路健吾
堀口文昭
佐々木稔納
吉本秀樹
信貴芳則
千代松大耕
阪口伸六
片山象三
下森博之
谷口太一郎
永松悟
三河明史

(敬称略・自治体コード順)



第35回函館キャンプ実施報告



憂国の思いを抱いた新島襄が国禁を犯して脱国した地である函館市を訪ねる「函館キャンプ」も今回で35回目を迎えました。このキャンプの趣旨は、「新島の生き方を学び、同志社を見つめ、人々との出会いや触れ合いの中で自分自身を振り返り、大学生活で新たな活動を行うきっかけにしよう」というものです。今年は8月22日(火)から25日(金)の日程で、学生12人・教職員スタッフ3人の計15人が参加しました。

キャンプのメインプログラムは、「新島襄の足跡を辿る」フィールドワーク。キャンプに先立って、京都で打ち合わせ会を重ね、班ごとに分かれて新島が函館滞時に巡った場所や関わった人々についての情報を収集しました。また、7月には市内史跡ツアーと題して新島旧邸や同志社墓地を訪れ、徐々に関心を高め、知識を深めていきました。最終的には現地でのフィールドワークに向けて地図や行程表を作成。函館キャンプ本番の8月23日(水)、実際にその場所を巡り、翌日には事前調査内容と実際のフィールドワークを通しての気づきや感想等を発表・共有し合いました。表面的であった知識や情報が現地で体感することによって、より確かなものへと変わった様子が見られました。

8月24日(木)には函館千歳教会を訪問し、柴田もゆる牧師にお話いただくこと

もに新島の遺髪を拝見。その後、新島襄海外渡航の地碑を訪れました。松岡学長にもお越しいただき、「新島のように大きな夢を抱き、何事にも強い意志を持って挑戦して欲しい」と激励の言葉をいただきました。また、学生は渡航の地碑の前で新島

状況を劇で再現し、参加者全員の心に強く刻まれるセレモニーとなりました。さらにその後、函館山山頂のレストランにてOB交流会を開催し、現地在住のOBの方々と親睦を深めました。

当初は学部も学年も異なるメンバーと3泊4日という長い時間を共有することや、プログラムの成否に不安を覚える学生もいましたが、時間が進むにつれ結束力が高まっていきました。学生からは、「これまでは調べて得られる知識だけで満足していたが、実際に体感することの重要性を感じた」「他参加者と同じ目的に向かうことで親しくなり、一緒にプログラムを作り上げることで大きな達成感を得ることができた」「大学や新島襄について楽しみながら知ることができ、自分の大学に誇りを持ちたいと思った」等の感想が寄せられました。これからも学生の新しい出会いと成長の場として、このキャンプをより良いものにしていきたいと思ひます。



(今出川校地学生支援課)

平成29年 司法試験合格者発表

9月12日、本年5月に実施された司法試験の合格者が発表されました。全国の合格者は1,543人、合格率は25.9%であったところ、本学司法研究科(法科大学院)修了者の合格者は20人(全国第14位)、合格率は17.9%(全国第22位)という結果であり、この春に修了した32人のうち7人が合格(合格率21.9%)しました。日頃から厳しい勉学に励み、難関を乗り越えることができた合格者を心から祝福するとともに、本学で身に付けた学識を糧とし、「良心を手腕に運用する」法曹として、存分に活躍することを期待しています。

法科大学院を取り巻く環境は厳しい状況にあります。少しずつ明るい兆しも見えてきました。同志社の精神である良心教育のもと、その薫陶を受けた法曹を一人でも多く輩出できるように、本研究科の教職員一同、より一層力を尽くして在学生および修了生の指導に当たる所存です。

(司法研究科)

平成29年司法試験 法科大学院別合格者数(上位20校)

順位	大学名	合格者数(合格率)
1	慶應義塾大学	144人(45.4%)
2	東京大学	134人(49.4%)
3	中央大学	119人(26.2%)
4	京都大学	111人(50.0%)
5	早稲田大学	102人(29.4%)
6	大阪大学	66人(40.7%)
7	一橋大学	60人(49.6%)
8	神戸大学	55人(38.7%)
9	首都大学東京	31人(27.0%)
10	明治大学	30人(11.7%)
11	北海道大学	29人(24.6%)
12	名古屋大学	28人(23.7%)
13	立命館大学	21人(12.1%)
14	同志社大学	20人(17.9%)
15	東北大学	18人(26.1%)
15	関西学院大学	18人(18.4%)
17	九州大学	17人(19.3%)
18	上智大学	16人(11.6%)
19	創価大学	13人(19.4%)
19	大阪市立大学	13人(17.1%)



熊本キャンプを開催



同志社ゆかりの場所と人物を訪ね、同志社スピリットを感じ、学ぶことを目標とする「熊本キャンプ」を9月6日(水)～8日(金)に開催、6人の学生が参加しました。今回は熊本を中心とする九州地方における昨年の地震について理解を深めることも目指しました。出発前に3回のミーティングを行い、学生たちの結束も徐々に固まり、キャンプ当日を迎えました。

初日、大きな被害を受けた熊本城をまじり見学し、ガイドの方から復興計画等の説明を受けました。引き続き、東海大学阿蘇キャンパスに学ぶ学生から、震災当時の状況やその後の学生生活等の話を聞き、意見交換を行いました。同世代ということもあり、学生たちの胸に強く響いた様子でした。夕食後には、熊本YMCA本部事務局長の神保勝己氏から、

支援する側の観点でご講演いただきました。

2日目、徳富記念園の見学、熊本草葉町教会における難波信義牧師による礼拝ののち、午後からは参加者全員で同志社ゆかりの地や熊本の名所を訪ねました。夕方からは、黒田孔太郎氏(ジェーンズの会副会長、元ジェーンズ邸館長)を講師に招き、「ジェーンズと熊本・同志社」をテーマとした講演を拝聴し、同志社校友会熊本県支部校友の皆様との交流会を開催。学生は卒業生から当時の学生生活の話等を伺うなど親睦を深め、会の最後には出席者全員でカレッジソングを熱唱しました。

最終日、宿舎にて今回のキャンプでの取り組みをふり振り返り、花岡山の「奉教之碑」の前で奉教趣意書を朗読、各自がビジョンを述べてプログラムは終了しました。

復興に向けて歩む熊本において、多くの貴重な学びを得ることができた3日間でした。

(キリスト教文化センター)

同志社大学政策学会講演会を開催



10月10日、今出川校地良心館にて、講師に商学部卒業生で熊本県副知事の田嶋徹氏をお迎えし、「熊本地震で出来たこと、出来なかったこと」をテーマに講演会が行われました。熊本県と同志社の関係は古く、同志社英学校で学んだ気骨あふれる熊本バンドの若者から始まり、現在でも続いています。

田嶋副知事は「地震の発生当時に『何が起き、何をしたか』という事実を3カ月後、1年後というフェイズで検証し、将来に向けて何を残すのかを考える。震災経験者としての役割がある」と話し、政策学部のカリキュラムの特色である「現実問題を切り口に、課題をどのように解決するか」という視点から、学生たちが自発的に学ぶ機会を持つことに期待されていました。

講演会の終わりには「くまモン」がサプライズゲストとして登場し、学生たちと交流を深めていました。

(政策学部)



本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

侵犯する身体

佐伯順子 他 著 京都大学学術出版会 5,000円

車載センシング技術の開発とADAS、自動運転システムへの応用

橋本雅文 佐藤健哉 他 著
技術情報協会 80,000円

管理会計入門 第2版

加登豊 他 著 日本経済新聞出版社 1,000円

日本の文学理論

西川貴子 他 著 水声社 6,000円

Corporations and Partnerships in Japan 2nd ed.

川口恭弘 他 著
Kluwer Law International 20,120円

21世紀中小企業のネットワーク組織

関智宏 他 編著 同友館 2,200円

身近に感じる国際金融

五百旗頭真吾 他 著 有斐閣 1,800円

基礎から学ぶ

スポーツリテラシー 改訂版

石井好二郎 他 著 大修館書店 2,000円

日本のコミュニティ放送

志村浩一郎 他 著 晃洋書房 2,900円

セルフ・コントロールの心理学

杉若弘子 青山謙二郎 他 著
北大路書房 4,800円

気づきのホリスティック・アプローチ

中川吉晴 著 駿河台出版社 1,800円

会社法判例の読み方

白井正和 他 著 有斐閣 3,100円

人工知能学大事典

廣安知之 他 著 共立出版 43,000円

証券事典

川口恭弘 他 著
金融財政事情研究会 15,000円

計量経済学の使い方 上 基礎編

佐竹光彦 牧大樹 他 訳
ミネルヴァ書房 2,800円

日本経済の軌跡と飛躍

八田英二 他 編著 佐竹光彦 北川雅章 他 著
晃洋書房 3,000円

心理学からみた食べる行動

青山謙二郎 武藤崇 編著 畑敏道 他 著
北大路書房 2,500円

社会・情動発達とその支援

内山伊知郎 他 著 ミネルヴァ書房 2,800円

中学・高校陸上競技の学習指導

田附俊一 他 著 道和書院 2,400円

行政訴訟の活発化と国民の権利重視の行政へ

田中治 他 著 日本評論社 10,000円

注釈民事訴訟法 第4巻

川崎四郎 他 著 有斐閣 18,000円

商業と異文化の接点

堀井優 他 著 吉田書店 13,500円

ガバナンスの機構

石田光男 他 訳 ミネルヴァ書房 6,500円

精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I第6版

黒木保博 他 著 へるす出版 3,100円

産業・組織心理学

久保真人 他 著 北大路書房 2,100円

社会学理論応用事典

佐藤郁哉 他 著 丸善出版 20,000円

カナダの歴史を知るための50章

和泉真澄 他 著 明石書店 2,000円

梁塵秘抄詳解 神分編

植木朝子 他 著 八木書店 13,000円

憲法学からみた最高裁判所裁判官

尾形健 他 編著 日本評論社 4,600円

アジア太平洋の未来図

村山裕三 他 著 中央経済社 2,900円

防災をめぐる国際協力のあり方

木場紗綾 他 著 ミネルヴァ書房 4,500円

金融商品取引法概説 第2版

山下友信 他 編著 有斐閣 4,000円

スポーツ戦略論

庄子博人 他 著 庄子博人 編集協力
大修館書店 2,600円

世界の人権保障

大島佳代子 他 著 三省堂 2,600円

労働法のフロンティア

土田道夫 他 編著 日本評論社 3,500円

バーリンとロマン主義

濱真一郎 著 成文堂 4,200円

分子マシンの科学

吉川研一 他 著 化学同人 4,200円

裁判例コンメンタール

刑事訴訟法 第2巻

河村博 他 編著 濱田毅 他 著
立花書房 7,600円

最新拡散分離工学の基礎と応用

松本道明 他 著 三恵社 2,600円

金融の仕組みと働き

野間敏克 他 著 有斐閣 2,200円

スコットランド啓蒙における商業社会の理念

笠井高人 他 訳 ミネルヴァ書房 6,500円

商標の法律相談 II

井関涼子 他 著 青林書院 5,200円

ケアの根源を求めて

中川吉晴 他 編著 晃洋書房 2,800円

中日言語研究論叢

郭雲輝 他 著 朝日出版社 5,600円

同志社大学公式 Facebook
<https://www.facebook.com/doshisha.university>同志社大学公式 twitter
https://twitter.com/DoshishaUniv_PR

Messages from International Students

留学生紹介



ヘンデウリッカ・ラーウィザ・
ロザリー・ティメマンスさん

2017年4月1日～2018年3月31日
日本語・日本文化教育センターに在学(オランダ出身)

『ONE PURPOSE』に執筆させていただいて光栄に存じます。私はオランダから参りました、ロザリー・ティメマンスと申します。オランダのライデン大学で日本語・日本文化を専攻しております。本年、大学院生として同志社大学で勉強することになりました。同志社大学で勉強を始めてから、日本語能力が上達していると感じています。日本語を日本で学ぶことは、より確実に日本語を学ぶことができ、効率的だと思います。小さい頃から日本に関心を持っており、数回日本を訪れました。そして、ライデン大学で勉強するうちに、

Met groot plezier voldoe ik graag aan het verzoek mij voor te stellen in “ONE PURPOSE”. Mijn naam is Rosalie Timmermans, ik kom uit Nederland en als onderdeel van mijn Master Japanstudies heb ik de mogelijkheid en het genoegen een jaar aan Doshisha Universiteit te studeren. In Nederland specialiseer ik mij in de Japanse taal en cultuur aan Universiteit Leiden. Mijn Japanse taalvaardigheid gaat met sprongen vooruit op Doshisha Universiteit, waarmee bevestigd wordt dat een taal het beste in het land zelf bestudeerd kan worden.

Op jonge leeftijd was ik al gefascineerd door Japan en heb ik het voorrecht gehad Japan meerdere malen te mogen bezoeken. Naast de taal verdiep ik mij ook in Japanse religie. Aan Universiteit Leiden heb ik onderzoek gedaan naar een bedevaartreiskaart van de Shikoku Pelgrimage uit de Edo periode. Philipp Franz von Siebold heeft deze kaart gemaakt – een van de eerste westerlingen die in Japan medicijnen doceerde. Hij was tevens arts op Dejima, de Nederlandse handelsnederzetting bij Nagasaki. Dejima speelde een belangrijke rol in het handelsverleden tussen Japan en Nederland. In 2000 herdachten we de 400-jarige handelsbetrekkingen tussen de twee landen.

In de toekomst zou ik graag de relatie tussen onze landen op mijn eigen manier willen voortzetten en de verbinding tussen Japan en Nederland versterken.

HENDRIKA LAUWIZA ROSALIE TIMMERMANS

日本の宗教について興味を持ち、研究しました。江戸時代の巡礼について、特にフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトが集めた四国遍路の地図を検証しました。シーボルトは出島に滞在していた頃、日本の医師に医学の講義を行なった医師でした。出島は日本とオランダを結ぶ接点として、日蘭関係に巨大な足跡を残しました。2000年は日蘭交流400周年記念でした。私は今後も、日本とオランダがより良い関係を築けるよう、日蘭文化とを結ぶ架け橋として努めたいと思っています。

ヘンデウリッカ・ラーウィザ・ロザリー・ティメマンス

創立150周年の2025年、さらに次の50年に向けて
「躍動する同志社大学」

VISION 2025

DOSHISHA UNIVERSITY

「理想の大学を創り出すためには200年の時を要する」

この新島襄の-high理想を結実させるために

2025年に迎える創立150周年と、

さらに次の50年に向けて

私たちは建学の精神「良心教育」を根幹に
これからの世界を牽引する大学の実現を目指す

「同志社大学VISION 2025」を掲げ
新たな創造と革新の大海原に漕ぎ出します。
その船の名は「ALL DOSHISHA」です。

VISION2025の成就を推し進めるために

「同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金」も立ち上げました。

学生、教職員、校友の方々など同志社人すべての力を結集し
この理想への航海を完遂します。

ALL DOSHISHA 特別対談

同志社校友会・
ダイキン工業株式会社
井上 礼之 会長



同志社大学
松岡 敬 学長



建学の精神を起点に 世界を牽引する大学を創出

松岡 1875年に同志社英学校を開校し、「良心を手腕に運用する人物」の養成を建学の精神に掲げた創立者・新島襄は、自らが思い描く大学を実現するためには200年の歳月を要すると語りました。2025年に迎える創立150周年は次の50年に向けての通過点ではありますが、きわめて大きな節目の時です。これを機に私たちは脈々と受け継がれてきた「志」の原点に立ち返り、「良心教育」を根幹とする3つの教育理念「キリスト教主義」、「自由主義」、「国際主義」による理想の大学の結実に向けて、これからの本学の進むべき行路と挑むべき目標を共有するための新たな基本理念として「同志社大学 VISION 2025」を策定しました。学生、教職員、校友が一体となった「ALL DOSHISHA」体制によって積極的に大学改革を推し進め、これからの時代を牽引する「志」ある人物を輩出したいと考えています。

井上 これからの時代に求められる人材については、様々な考え方がありますが、最も重要なのは人間としての卓越性だと思っています。つまり、尖った部分のある人。例えば、旺盛な好奇心、際立つ情熱、鋭い感性、傑出した洞察力や先見性などの資質の何れかで他を圧倒する人です。当社は現在145カ国で事業を展開しており、多様な国籍の人々がそれぞれの生活文化、宗教などを背景にした個々の価値観を持っています。日本人が海外で働く時に必要なのは、先に述べた資質を備え、自分の価値観を強く打ち出し、しかも同時に多彩な価値観を善として受け止める寛容性を発揮できる人です。大学で学問や研究を深めることは大切ですが、それ以上に自己の優れた特質を学生生活の中で見出し、国際性を磨いてほしい。そのような方々に入社してもらえば、その延長線上でさらに次元の高い人材育成

が可能になるからです。その観点からも同志社大学で学ぶ海外からの留学生が85カ国・地域、約1,430人(2017年5月1日現在)にも及び、同志社大学の留学プログラムで世界各国に留学した在学生が約1,450人(2017年5月1日現在)に達するという状況は素晴らしいと思います。海外にキャンパスを拡大していくことも大賛成です。

松岡 本学は各自の自発性を促し、その中で自己の個性や資質を見詰め、これを積極的に育み、個々の学びに導くという教育理念を140年余にわたって実践してきました。それは、即ち他の人々を深く理解し、多様な価値観を豊かな寛容性を持って受け入れることでもあります。このような人間教育を起点に、本学はこれまで日本と世界の共生と発展に貢献する有為な人物を輩出してきました。今後、創立150周年、さらに次の50年に向けて、大学改革を推し進める上で、要となるのは、やはりグローバル化だと考えています。これを教育・研究・学生生活などと掛け合わせた時、新たに何が必要であり、何が生まれるのか。既存の枠組みを再考し、融合と連携を試み、可能性を追求することによって、新島襄が目指した理想の大学を創出したいと願っています。

「同志社大学 VISION 2025」の一つである「学びのかたちの新展開」では、リーダー養成プログラムや大学院改革などを積極的に提供し、意欲ある学生の能力をさらに伸長したいと思っています。リーダーとはビジネスリーダーだけでなく、学術、研究開発、さらに地域社会のリーダーなども想定しています。それぞれの分野で独自の発想力や卓越した実行力を発揮し、

課題を乗り越え、時代を主導できる人材です。大学院改革では各研究科の中の近縁の学問領域の力を結集させ、これによって本学の教育改革の端緒にしたい。「キャンパスライフの質的向上」では、例えばダイバーシティキャンパスにふさわしい寮づくりを行いたい。世界各国・地域の留学生と日本人の学生が活発に交流できる学生寮です。また「『国際主義』の更なる深化」では昨年度からグローバル・リベラルアーツ副専攻を設置しました。こ



同志社校友会・ダイキン工業株式会社 **井上 礼之** 会長

同志社中学校、同志社高校を経て、1957年同志社大学経済学部を卒業。同年、大阪金属工業株式会社(現:ダイキン工業株式会社)入社。1994年代表取締役社長就任。2002年代表取締役会長兼CEO就任。2014年取締役会長兼グローバルグループ代表執行役員。社長就任までは、人事部長、人事担当役員として、組織風土の構築に深く関わってきた。

れは新島襄の理念を現代において具現化するために、彼が若き日に学んだアーモスト大学のリベラル・アーツを本学の中に新たに取り入れるための取り組みの一環として新設したもので、グローバル化が進展する中で新時代の価値を創出できる人材育成を目指しています。授業は全て英語で行われ、外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当しています。少人数で留学生と共に学ぶ対

ALL DO

話型授業が特徴で、広い視野と多様な思考力を養うことができます。海外有力大学のスタディー・アブロード・プログラム拠点 (SAP センター)、アメリカを代表するリベラル・アーツ・カレッジの名門校が多数加盟する AKP 同志社留学生センター、アメリカの有力総合大学が数多く参加する京都アメリカ大学コンソーシアム (KCJS) も 2009 年から設置しています。これらもグローバル化を積極的に推し進める本学ならではの際立つ特色です。

本特有のものを否定するのではなく、積極的に活かしています。アメリカンスタンダードに偏重せず、「人を機軸にした経営」、「長期的な人材育成」、「長期の雇用」、「チームワークの重視」、「忠誠心や帰属意識の強化」などを人材育成の核として非常に重視しています。「長期的な人材育成」や「チームワークの重視」などは欧米の新たなグローバルスタンダードとして普及させてほしいと考えているぐらいです。このような企業指針の一環として、日本な

らではの取り組みである、盆踊りを 40 年以上続けてきました。現在、4~5 カ国で催しています。例えば、アメリカでは約 3 万人が参加しています。日本の文化をアピールすることによって外国人の親近感が高まるのです。人間の心は国籍をこえて深く結ぶことができることを実感しています。もちろん、企業の説明責任や企業倫理、経営の透明性など欧米に学ぶべきことは積極的に取り入れています。例えば、シリコンバレーの先端企業がプロジェクトチームを組む時は、A ランクの尖った人材のみが集まります。これも日本が見習うべき点だと思います。要するに是非々々なのです。

現在、当社では特に「グ

ローカル人材」を注視しています。「グローバル」とはグローバルとローカルを組み合わせ

せた造語です。世界各国で事業を展開する企業にとって国際社会の第一線で活躍できる世界規模の視野を持ち、各地域の視点で経済や社会の発展に貢献できる人材が非常に重要なのです。それぞれの文化や宗教などを背景にした価値観を深く理解した上で、グローバル化とローカル化を同時に推進できる能力が強く求められています。ですから、例えばアメリカの価値観に精通した人であっても、ヨーロッパでは全く役に立たないということも起きています。世界の多様性を前提とした真の意味でのグローバル化を目指さなければならない時代が目前にきていると感じています。今後、さらに高度情報化が急伸し、世界各地との距離が縮まるほどローカルの独自性を実感し、それに対応できる人材が必要になってきます。このことを大学の人材教育でも重要視していただきたいと思っています。

松岡 「同志社大学 VISION 2025」の中で本学は新たな国際主義の展開として海外拠点の戦略的強化を図るために「同志社大学チュービンゲン EU キャンパス」構想を推進しています。本年 4 月にドイツのチュービンゲン大学に本学の拠点を開設し、ヨーロッパからの外国人留学生誘致を促進します。本学学生の派遣についてもチュービンゲン大学を中心とした教育・研究プログラムを開発し、展開していきます。インターネットを活用して相互の学生がディスカッションするといった教育プログラムの提供も予定しています。ヨーロッパには伝統を誇り、優れた教育で知られる名門大学が数多くあります。その土壌となる歴史と文化を含めて学ぶべきこ



まつ おか たかし
同志社大学 松岡 敬 学長

1979年同志社大学工学部卒業。1984年同工学研究科博士後期課程単位取得退学。1987年工学博士(同志社大学)。1984年近畿大学工学部助手。1993年同志社大学工学部助教授。1996年サリー大学材料工学科客員研究員。1998年同志社大学理工学部教授。同医工学研究センター長、同理工学部長、同副学長を経て、2016年4月より現職。

世界と地域を複眼で捉える 卓越した「グローバル人材」を

井上 当社の年間売上額は 2 兆円を超えていますが、その約 75% は海外で得ています。約 7 万人の従業員の内外国人が占める割合は約 80% と圧倒的です。このような現状の中で、外国人の従業員に対しても独自性のある社員教育を行っています。グローバル化の中で日



創立者 新島 襄

2ドルの募金から始まった理想への道。

1874年10月9日、アメリカ合衆国バーモント州のグレイス教会で行われた集会。神学校を卒えたばかりの日本人青年が登壇し、「母国にキリスト教の大学を創りたい」と涙ながらに訴えたのです。その赤心の熱き思いは、会衆の心を動かし、「帰りの汽車賃しか持ち合わせていないが、これを使ってください」と2ドルを差し出した老農夫もいました。青年の名は新島襄。その理想への道は、この時拓かれたのです。

SHISHA

とは多々あり、アメリカ以上に得るものがあると考えています。創立 150 周年、さらに次の 50 年に向けて、ヨーロッパの地域統合体である EU から本学を発信する拠点を構築するメリットはきわめて大きく、井上会長が重視しておられる次代を担う「グローバル人材」の育成にも貢献できると考えています。

井上 振り返れば、私は熱心に勉学に励む良い学生ではなかった。しかし、同志社で中学・高校・大学を過ごすことによって得たものは実に多かった。特にその気風に大きな影響を受けました。禅語に「霧の中を行けば覚えざるに衣湿る」という言葉があります。霧の中を歩いていると、いつの間にか衣服が湿っているように、身を置く環境に感化されるという意味ですが、まさにその通りだったと思います。何よりも自由闊達であることを尊重し、自分の個性と能力を発揮できる人物を育てようとした新島襄の教育理念を感じ取る中で、自由であることの尊さを実感し、自らを律しながら主体的に考え、自主的に行動することの大切さを学びました。

これらは社会人になり、社長となって会社の舵取りをするのにも、非常に役立っています。私が会社経営で大事にしてきた「人を機軸にした経営」、「フラット & スピード」、「コアマンとサポーター」、「自己責任の重視」なども全て同志社で養った精神と発想を起点に生み出したものです。会社は「命ある人間が集う集団」です。だから、人を機軸として出来る限りフラットであることが望ましい。「コアマンとサポーター」制度では、本来は次長や課長が中心になって仕切ります。しかし、例えば入社してまだ数年の若手でも、仕事を展開する国や地域に詳しいと判断すれば、彼をコアマンに抜擢し、幹部がサポートする場合もあります。自由と責任の観点からタイムカードも廃止しました。今日の積極果敢で退職率の低い会社を創り出すことができたのも、同志社の教えが礎になっています。

松岡 私は同志社大学の学部を経て本学大学院へ進みました。その間に感受した自由闊達な学風は、井上会長と同じように自分の大きな礎になっています。私は研究の世界に入りましたが、恩師に温かく見守られながら自由に研究できることの素晴らしさを、身を以て知りました。このような環境の中で貴重な学びや気づきを得ることができ、考え方も生き方も大きく変化しました。これが本学の際立つ特色であり、この伝統が今日の同志社を創り上げてきたのだと確信しています。

「ALL DOSHISHA」で 新島襄が高く掲げた理想を実現

井上 同志社校友会会長の大任を拝して本年で 7 年目になります。校友会は卒

「同志社大学 VISION 2025」のご説明を受けて非常に頼もしく感じると共に、これによって大学改革を推し進めるためには、「ALL DOSHISHA」体制が不可欠であり、校友会も全力で支援したいと考えています。「ALL DOSHISHA」を掲げる時、真っ先に頭に浮かぶのは建学の精神「良心教育」です。激変の時代だからこそ、より一層重要になってくると思います。また、「ALL DOSHISHA」とは教員・職員・学生に校友会の会員を加えたものです。この拡大を図り、一体化を強化するために、まず試みたいのが卒業生全員のネットワーク化です。同志社人のネットワークを通じて、例えば職域別・地域別・世代別に呼びかけたい。SNS なども積極的に活用すべきです。私

自身も会長になるまでは、日々の仕事にかまけて、校友会の活動は疎かになっていました。このような状況の方々も数多くおられるはずです。「同志社大学 VISION 2025」が掲げられたことによって、「同志社のために校友が力を結集して支援しよう」という機運が生まれています。この好機を捉えて一気呵成に盤石の体制を構築したいと願っています。また、「同志社



業生約 33 万人の大所帯です。本部の理事会、5 つの専門委員会、国内 48 支部、海外 31 支部があります。これまで校友会では、理事会、専門委員会と共に各支部総会、各地域ブロック会、全国支部長会と全国校友の集まりである大懇親会、海外大懇親会を通じて活性化を図り、大学との連携を強化してきました。また、在学生の方々に向けても海外留学とスポーツに関する奨学金制度を始め多彩なサポートを行っています。日本の地域経済を支え、次代を担う人材の育成・確保を目的とした U ターン就職推進のための就職協定支援も高い評価をいただいています。在学生に正しい食生活を促し、学生の交流を図るために開始した 100 円朝食支援も定着してきました。

大学 VISION 2025」を実現するためには、その基金を捻出するための募金活動がぜひとも必要です。校友会として最大限の継続的なご支援をお約束します。

松岡 改めて創立の原点を見詰め直し、これからの世界の中で高く評価される同志社大学の在るべき姿を見極め、これを着実に根づかせていく。これこそが本学が今やらなければならない最も重要なことであると考えています。創立 150 年の通過点において同志社大学の立ち位置を明確なものにしておきたい。これが学長としての私の決意であり、同志社人の方々にとっても次代への確かな指針になると思います。会長を始め皆様のお力添えを得て、未来へ向けて「躍動する同志社大学」を創出します。

未来に向けて「躍動する同志社大学」 ALL DOSHISHAで、ビジョンの実現へ!!

VISION 2025 の事業推進

学びのかたちの新展開

課題解決型教育やインターンシップ科目など学生の主体的な学びをさらに促進。また、リーダー養成プログラム、大学院改革など、意欲ある学生が能力を伸長できる教育も積極的に提供。先行き不透明な時代を自ら切り拓く力を高めます。

| Action |

- 世界に開かれた教育と地域に根付いた学び
- 大学院教育改革の推進

キャンパスライフの質的向上

スポーツ・文化・社会活動などの正課外教育の推進、地域コミュニティとの連携強化、そして学生や留学生を支える奨学金制度の充実。また、学生寮設置など、ソフト・ハード両面でこれまで以上に多様性豊かなキャンパスをめざします。

| Action |

- 多様な人物が様々な活動を通して共生できるキャンパスの実現
- 経済的修学支援制度の再構築

創造と共同による研究力の向上

さまざまな学問領域で800人超の研究者が学術研究を進めている総合大学の特色を生かし、文理融合や領域横断による融合研究を創出。世界規模での産官学連携、技術移転活動の推進によって本学の研究力を高めていきます。

| Action |

- 研究活動の戦略的活性化
- 研究活動への活性化評価の導入

「志」ある人物の受入れ

世界中から優秀で多様な背景を持つ学生を受け入れるため、入試制度改革に取り組みます。国際的教育プログラムや語学検定を活用する入試、海外修学経験者入試等のほか、生徒のこれまでの努力や実績、意欲を評価する入試を導入します。

| Action |

- 高大接続プログラムの展開
- 入学者選抜制度の再構築

「国際主義」の更なる深化

2017年度ドイツに開設したチュービンゲンEUキャンパスの教育体制を整備するなど、留学機会をさらに充実。留学経験を持つ学生の比率を全学生の30%に、外国人留学生の受入れを全学生の13%に増やし、国際性をさらに強化します。

| Action |

- 真のグローバルマインドを持つ人物の養成
- 海外拠点の戦略的強化

ブランド戦略の展開

SNS等を活用した情報発信や、効果的な広報活動を実施。また、卒業生が同志社人であることを幸せに感じる大学であり続けるため、在学生との交流、卒業生同士の交流など生涯にわたって絆を深めるための活動を展開していきます。

| Action |

- ブランディングの強化と推進
- 卒業生との生涯にわたる連携

最新情報や動画インタビューなどを順次公開中!!

創立150周年(2025年)・ビジョン共有サイト
VISION 2025
DOSHISHA UNIVERSITY

<http://doshisha-vision2025.jp>

同志社大学 VISION2025 検索



My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

のぐち あい
野口 和さん

[1999年 法学部政治学科卒業]

株式会社サイバーエージェント

インターネット広告事業本部 人事局 西日本事業部 シニアプランナー

自分の可能性を最大限に追求できる会社 「変化対応力」の強化が私の永遠のテーマです

One day on the job



🕒 10:00

業務開始。まず出社してメールをチェックします。社内のコミュニケーションはもっと手軽なビジネス用のチャットが基本です。



🕒 11:00

社員と一対一の面談。毎週10人は面談し、実際のコンディションを直接把握することがとても大事です。ちょっとした声かけも含めて、多くのメンバーと会話して社員の状況を知るようにしています。



🕒 13:00

現場の社員からもヒントをもらいます。実働サポートも含めて社員は強力な味方です。



🕒 15:00

各部署の上長との連携では、社員の様々な角度でのデータから議論することも。



プライベート

小3と年中の育児はてんてこ舞いですが癒します。

自由闊達に風通し良く意見を言える企業で仕事がしたい。これが私の第一の望みでした。自身の能力を徹底的に試してみたいという思いが非常に強く、風土の良さを重要視していたのです。このような観点から、当時、日本でも続々と誕生していたIT関連のベンチャー企業は、可能性に満ちた新たな業界で、自己を開花させることのできる分野ではないかと判断しました。急激に成長する企業や業界の渦中に身を投じ、刺激に満ちた日々を体感したいという気持ちも背中を押しました。現在、当社はインターネット広告のリーディングカンパニーであり、ゲームやメディアの事業も果敢に推し進めており、先取の気質、柔軟な発想といった社風にも満足しています。

インターネット広告事業本部の西日本事業部で営業からスタートし、複数の職種と局長昇格を経て名古屋営業所長を務めている時に第一子を妊娠。仕事に復帰した2009年に大阪に戻り、メディア局長になりました。その後、第二子を出産し、2013年から人事を担当しています。この部署での復帰は会社に自ら提案し、快諾してもらいました。当時、仕事自体は波に乗った状態でしたが、どうしても経験値で判断する傾向にあると気づき、今までと違う仕事をするこ

でこれまでの経験を基に新しい価値を創出できるのではと考えたからです。私たちは事業拡大のため、採用を強化しており、新卒・中途採用を合わせると年間100人以上の新入社員を迎えており、新入社員の戦力化が経営課題です。研修も実施しますが、何よりも現場での育成を重視し、成果を上げるための創意工夫を試みています。例えば、現場での課題などを見極めるために、月1回は部署上長とメンバーの面談を励行し、並行して行う人事とメンバーとの面談情報と併せて、各部署での育成やミッション設定、組織コンディションが適正なのかを議論しています。「もっと彼に成長するためのチャンスを与えたい…」、「その見立ては違うかも。本人の思いは…」などの確かな指摘や議論を行います。

全社的にも社員のコンディション把握は重要視しており、「晴・曇・雨」という当事者が現状のパフォーマンスを毎月、自己申告するシステムも採用しています。もちろん、個別の継続的なフォローも欠かせません。社員の力量を高め、組織を活性化する、経営戦略と直結した人事施策の立案と遂行が人事局の仕事です。今後も「変化対応力」の強化が育成の最大の目標であり、私にとっても永遠のテーマです。

弁護士 崎岡昌一郎	弁護士 海老 壽夫
弁護士 三浦 正樹	弁護士 三野 昌彦
弁護士 池上 哲朗	弁護士 武田 信裕
弁護士 伊山 正和	弁護士 鈴木 美香
弁護士 野崎 隆史	弁護士 高田 沙織
弁護士 前田 宏樹	弁護士 河合 亮
弁護士	

My Life

第76回

を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。

キャリア・プランに役立てば幸いです。

の ざき たか ふみ
野崎 隆史さん

[2008年 同志社大学大学院司法研究科修了]

京都総合法律事務所 パートナー弁護士



時を経るほどに「弁護士は天職」の思いが深まっていく 多くの人の日々を支え、社会のために尽くしたい

小学校1年生の時に「将来、なりたい職業」を問われて弁護士と記した記憶があります。もちろん、漠然としたイメージです。当時、連続テレビ時代劇『遠山の金さん』などが大好きだったので、裁判官や検察官に憧れたのかもしれません。いずれにしても、「人を助け、世に尽くす…」という仕事がしたかったのだと思います。中学校に進学した時には、大学では法学部に行く決めていましたが、猛勉強を始めたのは司法研究科に進んでからです。早朝から深夜まで勉強に打ち込みました。しかし、意外に勉強は面白く、そのような日々を1年ほど続けていた頃、今も心に残る不思議な夢を見ました。他界した祖父に「勉強が面白いようでは、受からないぞ」と諭されたのです。目が覚め、「もうやめたい!」と思うぐらいに頑張らなければ駄目だと気づき、学び方も「記憶」から「理解」に切り替えました。振り返れば、この判断が功を奏したと思っています。

これまで、京都の景観をまもる弁護団や化粧品被害の救済を図る弁護団等に加わって切磋琢磨してきました。刑事事件では、大阪高裁で逆転無罪判決を得た事件が心に残っています。当番弁護士として最初に接見した時から無罪を確信していた事件でしたので、冤罪を晴らすことができたときは、嬉しさというより、「ほっと

した」というのが正直な感想でした。

最近では、老舗企業や英会話学校の再生、音楽著作権の保護にも取り組んでいます。企業再生の場面では、スポンサーとして手を挙げてくれた金融機関の担当者が同志社の卒業生だったという縁にも恵まれました。また、ライフワークの一つである環境問題では、京都のエネルギー政策の制度設計や鴨川府民会議等に有識者委員として関与しています。そのような際にも同志社の教授や卒業生と力を合わせて取り組むことがよくあり、多彩な同志社人ネットワークが私の活動の力強い支えとなっていることを実感します。

裁判や交渉以外にも公的な活動や研修・セミナー等も数多く担っており、週末も時間が惜しい状態ですが、「しんどい」と感じることはあっても、「やめたい」と思ったことは一度もありません。弁護士の仕事はやりがいに満ちており、自分の天職だと実感しています。法曹界を目指す後輩の学生達には、法曹はとても魅力的な仕事であること、そして、「必死に突き進めば、必ず目標を達成できる。迷わずに打ち込め! 結果は必ず付いてくる」と伝えたい。私も、新島襄の「Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you!」を胸に迷いや不安と対峙しています。

One day on the job



09:00

一日のはじまりはメールチェックから。最大限即レスがモットー。スピーディーな対応を心懸けています。



11:00

裁判の合間に事務所の書庫にこもって文献調査。気になることは突き詰めるタイプなので、気付けば昼食を忘れることもよくあります。



14:00

京都弁護士会館での会議。ネット中継も利用し、全国から弁護士が集まって環境マネジメントについて話し合いました。私も京都弁護士会の取り組みについて報告をしました。



18:00 や土日

夜や土日は講演会を主催することもあります。法律問題にとらわれず、思想・国境・言語・人種等、あらゆるボーダーを超える活動に取り組んでいます。



ドイツ・フェルトハイム村の風力発電設備

番外 海外調査

持続可能なエネルギー政策への転換を目的としたシンポジウムの準備のため、スペインとドイツを訪れ、再生可能エネルギーの調査を行いました。

応援に行こう! 体育会試合日程

【アーチェリー部】

- 12月2日(土)・3日(日)
第22回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 決勝
近畿大学(大阪府)

【アイスホッケー部】

- 12月25日(月)～29日(金)
第90回日本学生氷上競技選手権大会 青森県八戸市

【ボードセーリング部】

- 12月2日(土)・3日(日)
関西新人大会第三戦
佐波江(滋賀県) 10:00～(天候によって変動あり)

【フィギュアスケート部】

- 12月20日(水)～24日(日)
第86回全日本フィギュアスケート選手権大会
武蔵野の森総合スポーツプラザ(東京都)

【居合道部】

- 12月10日(日)
第32回全日本学生居合道演武大会
浦安市運動公園総合体育館(千葉県)

【柔道部】

- 12月3日(日)
第61回京都学生柔道段別体重別選手権大会
第32回京都学生女子柔道体重別選手権大会
9:30～ 場所未定

- 2月11日(日・祝)
京都府柔道選手権大会
京都市武道センター 10:30～

- 3月4日(日)
近畿柔道選手権大会 兵庫県立武道館

【航空部】

- 3月10日(土)～17日(土)
第58回全日本学生グライダー競技選手権
埼玉県妻沼滑空場

【レスリング部】

- 12月9日(土)・10日(日)
西日本学生レスリング秋季リーグ戦
堺市金岡公園体育館(大阪府)
- 12月20日(水)～23日(土・祝)
天皇杯全日本選手権 駒沢体育館(東京都)

【水泳部】

- 12月2日(土)・3日(日)
第11回関西学生冬季公認記録会 京都アクアリーナ

【スピードスケート部】

- 1月6日(土)～8日(月・祝)
第90回日本学生氷上競技選手権大会
軽井沢風越公園アイスアリーナ(長野県)

【トライアスロン部】

- 2月25日(日)
日本学生デュアスロン大会 岐阜県海津市

♪観に行こう聴きに行こう♪

—学生団体 12月の活動予定—

【学内】

- 12月1日(金)・8日(金)・15日(金) KOREA文化研究会
「日朝関係史講座」

今出川 至誠館1番教室
18:25～19:55(18:10開場) 無料

- 12月2日(土) 法学研究会
「第67回全日本学生法律討論会」
今出川 明徳館21番教室
9:30～19:00(8:50開場) 無料

- 12月4日(月) 同志社大学学生保健部会
「献血」
今出川 明徳館横(図書館側) 11:30～16:30

- 12月5日(火) 同志社大学学生保健部会
「献血」
京田辺 ローム記念館前良心碑北側 10:00～16:40

- 12月10日(日) ピアノ研究会
「クリスマスコンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール
15:00～18:00(14:30開場) 無料

- 12月16日(土) リーダークラウン
「創立84周年記念定期演奏会」
今出川 寒梅館ハーディーホール
14:00～15:30(13:30開場) 無料

- 12月17日(日) 法学研究会
「常設法律相談会」
今出川 寒梅館2A・2B・2C 13:00～16:30 無料

- 12月17日(日) 雅楽会
「第24回定期公演」
今出川 寒梅館ハーディーホール
17:30～19:00(17:00開場) 無料

- 12月27日(水) Folk Song Society(F.S.S.)
「クリスマスコンサート」
京田辺 ハローホール 12:00～20:00 無料

【学外】

- 12月3日(日) マンドリンクラブ
「第171回定期演奏会」
京都府長岡京記念文化会館
14:00～16:00(13:30開場) 500円

- 12月9日(土)・10日(日) 書道部
「連盟展」
建仁寺 西来院・禅居庵
10:00～17:00(最終日は16:00まで) 無料

- 12月10日(日) 同志社大学応援団吹奏楽部
「第48回定期演奏会」
八幡市文化センター大ホール 14:00～16:00(13:30開場) 無料

b ふらっとプログラム



【会場】京田辺キャンパス ローム記念館内 劇場空間 無料

- 12月1日(金) 開演時間12:20～
～ミュージカル・ソウ(のこぎり)コンサート～
出演 Andre(安藤玲子)

- 12月20日(水) 上映時間 ①12:20～ ②14:55～ 2回上映
～手描きアニメーション 小野ハナ短編アニメ上映～
出演 小野ハナ

- 1月16日(火) 開演時間12:20～
～紙切り芸&パフォーマンス～
出演 林家楽一・坂野雄亮

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413

アッセンブリーアワー ×NHK 大学セミナー 「ファッションの力」

【日時】12月5日(火)
開場16:10 / 開演16:40(終了予定18:10) 入場無料

【講師】コシノジュンコ氏

【会場】良心館107教室(RY107)

【対象】同志社大学学生(一般来聴可)

【定員】350人

【申込方法】今出川校地学生支援課(ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp)へ、
タイトル「ファッションの力」本文「氏名」「区分①or②※同志社大学学生は
①、その他(教職員、他大学生、一般)は②」を記載のうえ、12月3日(日)ま
でにメール送信してください。(先着順にて受付)

【主催】同志社大学 NHK京都放送局

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

第28回 同志社京田辺 クリスマス燭火讃美礼拝

クリスマスはキリストの誕生を記念し、全ての人が愛と信頼によって結ばれる未来を待ち望む祝祭です。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもと、ともにクリスマスの礼拝を捧げましょう。皆さんのご来場をお待ちしています。なお、礼拝では手話通訳が行われます。

【日時】12月9日(土)

開場15:30 / 開始16:00(終了予定17:30) 入場無料

【会場】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)

【お問い合わせ先】

京田辺校地 キリスト教文化センター事務局 TEL:0774-65-7370

アドベント*礼拝

*アドベント(Advent)という単語は「到来」を意味するラテン語Adventus(=アドベントゥス)から来たもので、イエス・キリストの降誕を待ち望む期間のこと(今年は12月3日から12月24日まで)です。

●今出川火曜チャペル・アワー 17:30 ~ 18:10

神学館礼拝堂 12月5日・12日・19日

●今出川水曜チャペル・アワー 10:45 ~ 11:30

クラーク・チャペル 12月6日・13日・20日

●今出川金曜チャペル・アワー 12:35 ~ 13:00

同志社礼拝堂 12月8日・15日・22日

●京田辺火曜ランチタイム・チャペル・アワー 12:35 ~ 13:00

同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂 12月5日・12日・19日

●京田辺水曜チャペル・アワー 15:00 ~ 15:45

同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂 12月6日・13日・20日

●京田辺金曜ランチタイム・チャペル・アワー 12:35 ~ 13:00

同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂 12月8日・15日・22日

【お問い合わせ先】

今出川校地 キリスト教文化センター事務局 TEL:075-251-3320

京田辺校地 キリスト教文化センター事務局 TEL:0774-65-7370

クリスマス・イブ礼拝

●今出川校地

いのちが温もりに包まれる夜、同志社のクリスマス・イブ礼拝にお出かけください。

【日時】12月24日(日) 18:30 ~ 20:00

【会場】同志社礼拝堂 ※同志社教会のクリスマス・イブ礼拝と共同開催。会場の都合で、満員になりましたら、入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

●京田辺校地

楽しい歌とパフォーマンスでキリスト降誕を一緒に祝いましょう。

【日時】12月23日(土・祝) 16:40 ~ 17:30

【会場】同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂

【お問い合わせ先】

今出川校地 キリスト教文化センター事務局 TEL:075-251-3320

京田辺校地 キリスト教文化センター事務局 TEL:0774-65-7370

同志社 クリスマスキャンドルライトサービス

キャンドルの光のもと、皆さんで一つになって、イエス・キリストの誕生をお祝いしましょう。

【日時】12月23日(土・祝) 開場 17:30/開式 18:00

【会場】今出川校地 同志社栄光館ファウラーチャペル(女子大学・女子中高構内)

【主催】同志社クリスマスキャンドルライトサービス実行委員会

【後援】同志社中高・女子中高・国際中高・香里中高 各校宗教部

同志社大学 キリスト教文化センター・同志社女子大学 宗教部

【お問い合わせ先】同志社女子大学 宗教部 TEL:075-251-4141

第53回全同志社メサイア演奏会

今年で戦後の復活メサイア53回目です。クリスマスイブの夜、皆さまのご来場をお待ちしております！

【日時】12月24日(日) 開場17:00/開演18:00

【会場】京都コンサートホール 大ホール 【指揮】金 洪才

【曲目】G.F.ヘンデル：オラトリオ「メサイア」

ソプラノ：松下悦子 アルト：渡辺敦子 テノール：小貫岩夫

バス：井原秀人 チェンバロ：井幡万友美 オルガン：大代 恵

合唱：同志社グリークラブ メサイアシンガーズ

演奏：同志社交響楽団

【入場料】S席(事前座席指定) 2,000円

A席(事前座席指定) 1,500円

B席(当日座席指定) 1,000円

※B席のみ当日16:30より座席券交換

【チケット】

チケットぴあ TEL:0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード344-397)

京都コンサートホールチケットカウンター TEL:075-711-3231

ロームシアター京都チケットカウンター TEL:075-746-3201

同志社大学生協 京田辺ブック&トラベル TEL:0774-65-8376

良心館トラベル&サービス TEL:075-251-4433

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【お問い合わせ先】全同志社メサイア演奏会実行委員会

TEL:080-3864-2412(稲田)

WOT(ワット)



「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料/一般は有料

●12月7日(木) 《ポーランド映画祭2017》*詳細未定

●12月8日(金) 《マッシュ・バーニー『クレマスター』5部作一挙上映》*詳細未定

●12月14日(木) コンサート《大西順子トリオ》

お問い合わせ:エースプロモート TEL:06-6341-1171

●12月15日(金) 映画上映 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

クローバーシアター



開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】本学学生・教職員はすべて無料/一般は催しにより有料

(12月のラインナップ)

●12月12日(火) クリス・マルケル『レベル5』特別上映 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

※12月5日(火)のクローバーシアターはお休みです。

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。

【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます) 【会費】無料

【特典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

COVER INTERVIEW My Purpose 挑戦する人



2016年度同志社大学体育会「最優秀部賞(総長杯)」 「最優秀選手賞(学長杯)」を受賞 さらに今年は射撃部主将として3大会で女子団体優勝を達成

受験の下見で訪ねた高等学校で、鵜飼風音さんは射撃部への入部を促すポスターを目にする。そこに記されていた「誰でも上を目指せる!!」というキャッチフレーズが射撃に興味を抱ききっかけになったという。高校入学後、友人と共に部活見学で射撃部を訪れると、その場でビームライフルの試射を勧められる。初めて手にした銃であったが、見事に真ん中の10点を撃ち抜く。「自分でも驚き、感激しました。入部の決め手になったのは、誰もが高校から同じスタートラインに立って挑めるスポーツだったことです。全国大会で優勝された先輩もおられ、私も本気で頑張れば、その後を追えると思いました」。以来、鵜飼さんは、週末の合宿にも参加し、夏休みも練習に励み、実力を鍛え抜く。その努力は早くも1年後には大きく実を結び、高校2年生の時に第39回全日本ビームライフル射撃競技選手権大会(BRS40W)で優勝の栄冠を手にする。

本学の射撃部の創部は1929年。京田辺キャンパス内に射撃場があり、部員は平日に各自が自主練習を行い、日曜日に全体練習を実施している。鵜飼さんは週平均4～5日、1日約3～4時間、長い日は半日近く練習に打ち込んでいる。全体練習では射撃姿勢がぶれないように体幹トレーニングも重視し、フロントブリッジやサイドブリッジなどの鍛錬も取り入れている。インナーマッスルが強化され、筋肉を正しく動かすために欠かせない姿勢の矯正にも役立ち、効果を実感している。鵜飼さんが練習で最重視しているのは、試合に臨む時のように最大限に集中力を高め、一発一発を大切に撃つこと。逆に本番では「いつもの通りに撃てば、絶対に大丈夫!」と自分に言い聞かせ、練習時と同じ段取り、一連の動きを守るルーティ

ンを大切にしている。「どれだけ平常心を保てるか。自分を完璧にコントロールできるか。非常に難しいことですが、これが勝負の分かれ目になります」。また、ジャケットやズボンなど射撃用の装具はオーダーメイドであり、サイズが変わらないように体重の保持などにも心を配っている。

昨年は第12回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会(50m3×20W個人)、第24回西日本女子学生ライフル射撃選手権大会(50m3×20W・10mARS40W・50mP60W・個人3種目)、第22回春季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会(10mARS40W個人)で優勝したが、大学生として目指してきた全国大会(日本学生選抜)での勝利が最も印象深く、目標を達成できたことが自信に繋がったという。今年は主将として「Challenge～挑戦の年に」をスローガンに掲げ、目標とした第25回西日本女子学生ライフル射撃選手権大会(女子団体)、第23回春季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会(女子総団体)、第30回全日本学生スポーツ射撃選手権大会(女子総団体)での団体優勝という快挙を成し遂げる。また、2016年度同志社大学体育会「最優秀部賞(総長杯)」「最優秀選手賞(学長杯)」の受賞については「最優秀部賞は射撃部の誇りであり、その荣誉に恥じることはないように頑張りたい。最優秀選手賞は本学の学生として最高の記念になりました」と感慨深げに語る。4年次生の鵜飼さんの大学生としての最後の目標は来年の卒業間際に開催される世界大学学生選手権。すでに競技にも深い理解のある地元企業への就職も決まり、社会人になっても現役選手を続ける決意を固めている鵜飼さんは、アジア大会や夏季オリンピックへの出場も視野に入れ、アスリートとしてのさらなる高みを目指している。



う か い か ざ ね
鵜飼 風音さん
[文化情報学部 4年次生]